

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

下條村

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	森林景観整備事業
事業費 517,868 円 (うち支援金: 469,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

・私有林等において、地主の高齢化や木材への関心の低下により整備が行われておらず、放置されている状態の場所がある。

特に、道路に隣接した整備の遅れている森林は、景観の確保、凍結防止、視界の確保、獣害防除の観点から森林整備を実施する必要がある。

(2) 本事業の目的

・道路沿線の森林の景観整備、凍結防止、視界の確保、獣害防除の緩衝帯整備を目的とした整備を行い、森林としての機能向上を目指す。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 ・新田地区の道路沿線の森林

(2) 対象者 ・区からの申請を対象

(3) 実施方法

- ・林業経営者に委託
- ・区から申請を受け、道路沿いの森林を整備する。
- ・整備後の維持管理については、各区に任せて管理させる。
- ・森林の間伐(冬季の道路凍結を防止するため、場所により 40%以上の伐採)、雑木処理、下層木草の刈り払いを行う。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(平成 30~令和 4 年度)

- ・村内の各地域で、森林整備を継続的に行う。
- ・1~3 箇所/年 × 5 年間 = 約 5~15 箇所

②令和 2 年度実績

- ・2 箇所



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

- ・森林の景観と機能の向上が図られた。

(2) 継続性

- ・整備実施後の管理を区に実施していただき、整備後の状況を可能な限り維持していただくことで、景観の維持ができる。
- ・森林整備に対する意識の向上が期待できる。

(3) 普及性

- ・各地区より直接要望があった個所を整備することで、自分たちの身近なところでも森林税が活用されていることが理解いただける。
- ・道路を利用する村内外の住民に、視界が開けて見通しが良くなるなど良好な森林景観を感じていただける。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

- ・道路沿いの森林を整備(間伐, 雑木処理, 下層木刈払い)したことにより、景観向上と視界の確保ができた。合わせて、道路に日が当たり、凍結防止につながった。

(2) 課題

- ・事業実施後の森林整備の継続

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

- ・当村では幹線道路周辺や公共施設、観光施設周辺の森林整備を今後も実施する方向であり、村内各地区からの実施要望に沿って、今後も引き続き対応していく予定。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)